

自転車駐車場整備による利用状況と街路空間の変化

熊本大学 学生会員 ○増田周平
正会員 北園芳人

1. 研究目的

現在熊本市では、自転車利用環境整備基本計画¹⁾を策定していて自転車が利用しやすい環境の整備に取り組んでいます。その中で自転車を都市交通の手段として捉え自転車利用の推進を進めています。

一方で、もともと熊本市中心部では違法駐輪と放置自転車が多く、緊急車両や歩行の妨げになっていました。その対策として、平成 24 年 6 月から自転車駐車場の整備拡張並びに 2 時間以上の有料化が始まりました。整備拡張以前までは、市で整備されている自転車駐車場が約 3500 台、民間で整備されている自転車駐車場が約 500 台で計 4000 台程でしたが、整備拡張後は市で整備されている自転車駐車場が約 2500 台、民間で整備されている自転車駐車場が約 4000 台で計 6500 台程になりました。

そこで、自転車駐車場の整備拡張に伴い放置自転車や違法駐輪の数はどうなったのか、中心部に来る人々は自転車駐車場の整備拡張並びに 2 時間以上の有料化をどう思っているのか、そして街路空間がどのように変化したのかを調べ、自転車で街中に出てくる人を増やすためにはどうしたらいいのかを提案します。

2. 研究方法

まず、自転車駐車場の利用状況については市役所のホームページ²⁾や民間の駐車場のホームページ³⁾で調べます。

また、自転車駐車場の現状や利用者の声は中心市街地の代表的な街路でアンケート調査を行います。

そして、熊本市街地の街路空間の変化は整備拡張後の熊本市街地の写真を撮り整備前のものと比較します。

3. 駐輪台数・放置台数

図 1,2 は駐輪台数と放置台数との 6~8 月までのデータをグラフにしたものです。

まず図 1 において市営の駐車場は 15 時にピークを迎

えているのに対して民間の駐車場は 20 時にピークを

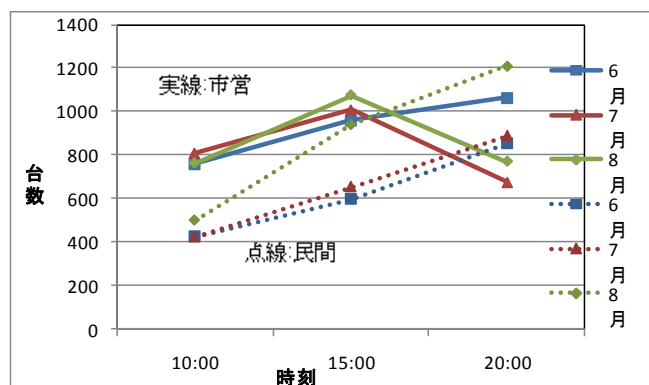


図 1.市営²⁾・民間駐車場駐輪台数³⁾

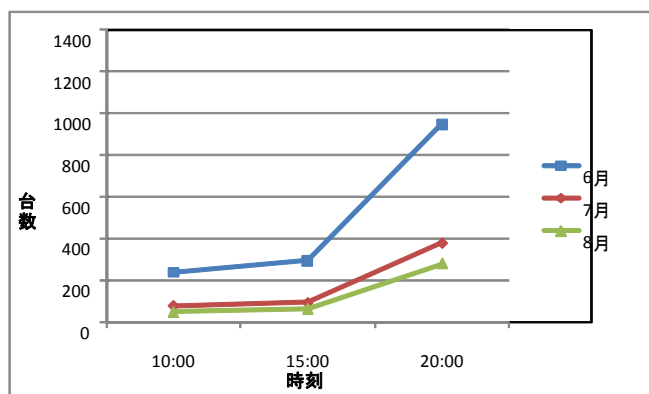


図 2.違法駐輪・放置台数²⁾

迎えていることがわかります。これは利用者の目的地が時間帯によって異なるので、民間と市営駐車場の場所の違いによるものと思われます。例えば 20:00 では他の時間帯と比べて、学生のバイトや飲食が多いと思われるので、目的地のなるべく近くに止めるために市営よりも数多くある民間の駐車場が選ばれやすいと考えられます。

また、図 2 を見ると 6 月の放置台数に対して 7、8 月の放置台数がかなり減っていることがわかります。これは、自転車駐車場が整備拡張され、放置自転車や違法駐輪を厳しく取り締まられていることが浸透してきたのではないかと考えられます。

4. アンケート調査

まず対象は自転車駐車場利用者とその他の交通手段で街を訪れる人々です。目的は、自転車駐車場利用者には駐車場を利用して不満に思ったことや改善してほしいこと、その他の方には自転車駐車場が整備されたことを知っているのか、また有料化により交通手段が変わったのかを調査するためです。アンケート項目はそれぞれ 12 項目ずつです。

場所は中心市街地の代表的な街路である下通りのダイエー前で 9:00 から 11:00 と 16:00 から 18:00 の二つの時間帯で行います。

5. アンケート結果

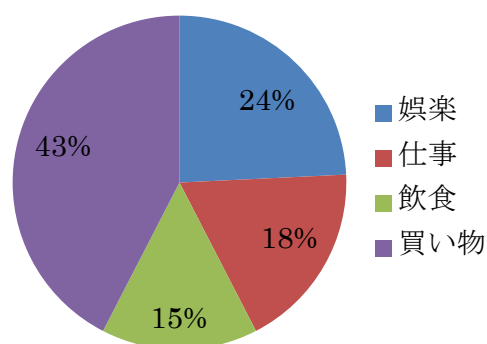


図 3. 街を訪れた目的は？

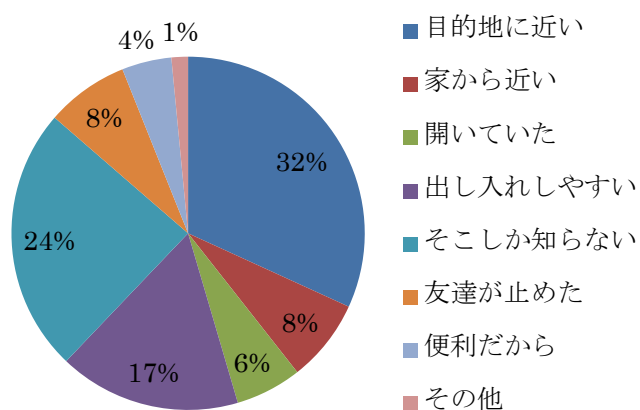


図 4. 今日駐車した場所を選んだ理由は？

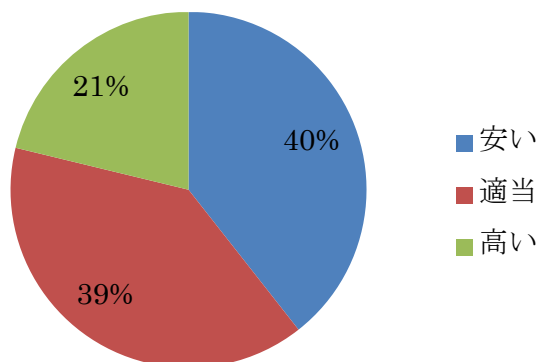


図 5. 自転車駐車場利用料金についてどう思うか？

図 4 を見ると、目的地に近いという理由が一番多いが、これはどの年代でも一番の理由でした。

また、図 3 と図 5 を見ると仕事で来ている方(18%)のほとんどは駐車場料金を高い(21%)と思っています

6. 街路空間の変化



図 6. 整備前



図 7. 整備後

図 6, 7 を見ると、以前は違法駐輪や放置自転車が多かった場所に対して、自転車駐車場の整備後は違法駐輪と放置自転車がなくなっているように見えます。実際に昼間は、警備員の方々のおかげでほとんどなくなっています。しかし、警備員の方々がない時間帯になると街中のあらゆる所で違法駐輪がまだまだされているという問題点もあります。

7. 自転車利用促進のための提案

まず、自転車の利点になるべく目的地の近くまで行けることなので、小さい自転車駐車場を数多く造ると多くの方が自転車で街を訪れたいと考えます。

しかし、新たに自転車駐車場を造るには、コスト面や場所の問題もありあまり現実的ではありません。

そこで現在車両駐車場として使われている一部を自転車駐車場として利用できるようにすると、自転車利用者にとっては止められる台数は少ないですが、より目的地の近くまで止められるようになり便利になると考えられます。ちなみに車一台分のスペースで自転車が 6 台止められます。

8. 参考文献

1) 自転車利用環境整備基本計画

平成 23 年 6 月 熊本市

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/content/web2/>

熊本市のホームページ

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/default.asp>

3) パスートのホームページ

<http://www.passurt.com/passurt24/kumachu.html>